

飛騨地域におけるモモ苗木養成のための接ぎ木適期と芽接ぎ苗の越冬方法

【要約】飛騨地域におけるモモの芽接ぎ適期は8月下旬～9月上旬で、T字接ぎとそぎ芽接ぎのどちらの方法でも接ぎ木成功率は高い。また、積雪による接ぎ芽の欠損を防止するため、越冬前に稲わら又はスギ葉等で苗木を覆う。切り接ぎの適期は4月中旬～下旬である。

中山間農業研究所・試験研究部・宮本善秋

【連絡先】0577-73-2029

【背景・ねらい】

飛騨地域で問題となっているモモ幼木の枯死に対しては、ハナモモ「国府HM-1」台が有効であるが、この台木を使用した苗木は流通していないため、苗木の自家養成が必要である。しかし、現地では地域および年次により接ぎ木成功率が低く、苗木生産が不安定となっている。

そこで、気象条件の異なる現地ほ場において、接ぎ木時期、接ぎ木方法並びに越冬方法を検討し、モモ苗木生産の安定化を図る。

【成果の内容・特徴】

- 1 芽接ぎ時期が早い（8月上旬）と接ぎ木テープが食い込み接ぎ芽が枯死しやすく、遅い（9月下旬）と接ぎ木活着率が低下すると共に、翌年の苗の生育が劣る。このため、芽接ぎは8月下旬～9月上旬に実施する（表1・2）。
- 2 芽接ぎの方法は、T字接ぎ、そぎ芽接ぎのどちらでも高い成功率が得られ、翌年の苗の生育にも差がない（表1・2）。なお、そぎ芽接ぎの方が接ぎ木所要時間が短く省力的である。
- 3 積雪による接ぎ芽の欠損を防止するため、越冬前に苗木に被覆資材を巻き付けて接ぎ芽を保護する。被覆資材には、稲わら又はスギ葉など安価で入手しやすい資材を使用するとよい（表3）。
- 4 春季に行う切り接ぎは、ソメイヨシノの開花始期～満開期にあたる4月中旬から下旬に実施する（表1）。

【成果の活用面・留意点】

- 1 接ぎ木時に乾燥が続くと活着率が劣るので、接ぎ木前後には十分かん水する。
- 2 芽接ぎ用の穂木は、よく充実した新梢を採取し、直ちに葉柄を残して葉を落とし、乾燥させないように注意する。
- 3 切り接ぎ用の穂木は、2月中下旬に採取し、接ぎ木時まで冷温下で保湿して貯蔵する。
- 4 接ぎ木後は、接ぎ木部の乾燥防止と固定のため、ビニールやポリオレフィンフィルム（メデール）を用いて結束する。

【具体的データ】

表1 接ぎ木方法および接ぎ木時期の違いと接ぎ木成功率

接ぎ木方法	接ぎ木時期		高山市久々野町		飛騨市古川町	
	月 旬	時期の目安	活着状況	成功率(%)	活着状況	成功率(%)
芽接ぎ (T字芽接ぎ)	8月上旬	白鳳収穫始期	1.9	100	-	-
	8月下旬	昭和白桃収穫期	2.4	80	2.3	100
	9月上旬	つがる収穫始期	2.9	90	2.9	100
	9月下旬	つがる収穫終期	-	-	3.0	80
芽接ぎ (そぎ芽接ぎ)	8月上旬	白鳳収穫始期	1.5	70	-	-
	8月下旬	昭和白桃収穫期	2.8	90	3.0	100
	9月上旬	つがる収穫始期	2.7	90	2.8	90
	9月下旬	つがる収穫終期	-	-	3.0	90
切り接ぎ	4月中旬	ソメイヨシノ開花始期	-	100	-	-
	4月下旬	ソメイヨシノ満開期	-	92	-	80
	5月上旬	満開から2週間後	-	39	-	0

- ・芽接ぎは2004年、切り接ぎは2005年に各区10～30本実施。
- ・台木は「国府HM-1」、穂品種は「白鳳」を使用し、接ぎ木は台木長約10cmで実施。
- ・接ぎ木後の活着状況は、2005年の4月、成功率は6月に調査。
- ・活着状況は、0:接ぎ芽枯死、1:接ぎ芽充実不良、2:充実中程度、3:充実良好。

表2 接ぎ木方法および接ぎ木時期の違いと苗木の生育

接ぎ木方法	接ぎ木時期	高山市久々野町		飛騨市古川町	
		樹高(cm)	幹周(cm)	樹高(cm)	幹周(cm)
芽接ぎ (T字芽接ぎ)	8月上旬	184	5.1	-	-
	8月下旬	226	6.4	162	4.3
	9月上旬	238	6.3	154	4.0
	9月下旬	-	-	140	3.6
芽接ぎ (そぎ芽接ぎ)	8月上旬	186	5.3	-	-
	8月下旬	198	6.6	160	4.0
	9月上旬	244	6.7	154	4.0
	9月下旬	-	-	130	3.5
切り接ぎ	4月中旬	219	6.4	-	-
	4月下旬	194	5.6	146	3.3
	5月上旬	159	4.2	-	-

- ・接ぎ木年、供試品種、供試樹数、台木長は表1と同じ。
- ・苗木の生育調査は、古川町が2005年11月、久々野町が12月に実施。
- ・幹周は接ぎ木部より20cm上の部位で測定。

表3 芽接ぎ苗の越冬方法の違いと接ぎ木成功率(%)

越冬方法	久々野町	古川町	研究所内
稲わら巻き	90	-	70
スギ葉巻き	-	100	-
こも+タイベック巻き	90	80	44
盛り土	80	10	-
白塗剤塗布	40	80	20
無処理	-	-	33

- ・2004年秋に芽接ぎを実施した苗木を各区10～30本供試。
- ・各処理は2004年11月下旬から2005年4月上旬まで実施。
- ・接ぎ木成功率は、2005年6月に調査。

研究担当者：神尾真司